

5. 砂の造形【所要時間 120分～150分 200名】

(1) ねらい 友達と自由に発想したことを、海岸の砂を使って造形し、表現活動の楽しさや協力することの大切さを味わわせる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：身軽な服装，帽子，タオル，ぬれてもよい靴
- 引率者：班編制（10名程度が望ましい）評価計画，カメラ，救急薬品等
共通のテーマで構想をねらせ，スケッチをさせておく。
- 所員：潮の干潮による砂浜の状態把握，スコップ，移植ゴテ，土み，バケツ，時計，旗

(3) 指導上の諸注意（引率者）

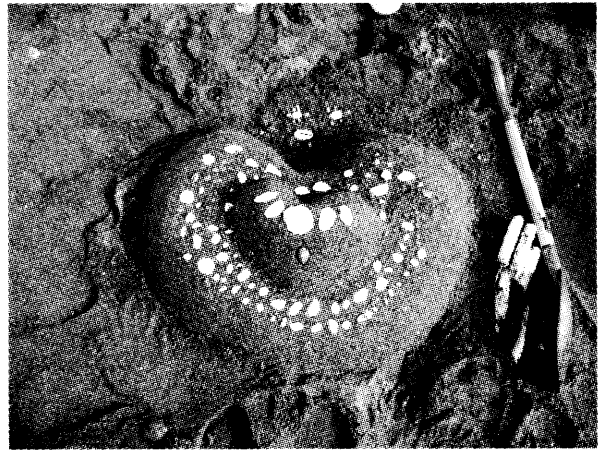
- 事前に現地を調査し，人数（班）に応じたスペースを確認する。

(4) 活動展開例

活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. 集合，点呼をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ●体調の悪い時は引率者に申し出る。 ●班別に用具を配る。（土み，移植ゴテ，バケツ，スコップ） ●用具等による事故のないよう注意する。 	●つどいの広場
2. 造形について説明を聞く。	10		●小島の浜
3. 小島の浜へ移動する。	10	<ul style="list-style-type: none"> ●小島の浜に集合し，全員の到着を確認する。 ●班毎に造形する区画を知らせる。 ●用具の埋没や砂が目にはいらないよう十分に注意する。 ●砂のしめり具合と造形の関係，使用道具の使い方を知らせる。 	●砂浜の区画 ●旗
4. 構想をもとに造形する。	50 80	<ul style="list-style-type: none"> ●最初10分間ぐらい相談する。 ●全員協力し，失敗しても最後まで造形作業をする。 ●制限時間内に完成するよう努力する。 ●作品をすっきりさせるために，周辺の整理をする。 ●自然を大切にし，自然を愛護する態度が身につくようにする。 	●時間の経過を知らせる。
5. 作品を相互に鑑賞する。	20	<ul style="list-style-type: none"> ●予定の時間がきたら作業を止め，作品を相互に鑑賞する。 	

6. 集合, 点呼をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ● 点呼後, 用具の点検をする。 ● 全体の活動についてまとめの話し合いをする。
7. 移動し用具を指定場所に返還する。	10	<ul style="list-style-type: none"> ● 用具をよく水洗いして所定の場所へ返す。

★砂の造形の様子



備 考

1. テーマをはっきりさせて, 造形活動をさせるのが望ましい。
 2. 子どもは創作の天才である。できるだけびのびと子どもらしさを表現させたい。
- ※磯の生物観察と砂の造形は, セットにすることができる。